



もぐもぐだより3月

枇杷島保育園
調理員 大島・竹内記
令和5年3月24日発行

給食の時間や食育活動の時など、子どもたちはどんな様子だったのでしょうか？
担任の先生に聞いてみました。

＜ひまわり組＞



- ◇ 1年間黙食に力を入れ、みんなでがんばって取り組みました。黙食することで、集中して食べることができ、就学に向けて、時間内に食べ終わるという課題を、スムーズにクリアできました。
- ◇ 様々な食育活動を行いました。特に包丁の使い方は、回数を重ねるごとに目に見えて上達していくのがわかり、子どもたちの自信に繋がったようです。
- ◇ その日食べた給食を赤・黄・緑の3色に分ける取り組みをしたことで、さらに食への興味関心が強くなったように感じています。



＜ばら組＞

- ◇ 食べられない食材が多く、減らすことが多かったこどもたちも今では食べる量も増え、毎日たくさんの子がおかわりしています。ごちそうさまにも、間に合わせて食べられるようになりました。
- ◇ 正しい座り方、お皿の持ち方など、食事のマナーが身に付くよう声をかけ続けたことで、今では自然に守れるようになりました。



＜さくら組＞

- ◇ 色々な食材に慣れ、苦手な物も食べてみようとする姿が多くなりました。「おかわりください！」の声も増えました。
- ◇ 箸を使って食べる事、三角食べなど苦戦しながらもばら組になることを楽しみにがんばっています。



＜すみれ組＞

- ◇ 春の頃は、苦手な食べものがあると苦戦している子が多かったですが、少しずつ食べてみようとする姿が増え、食べられるようになった子もいます。

- ◇ スプーン・フォークの下持ちから箸への移行では、無理なく少しずつ練習していったことで、今では箸とお皿を上手に持って食べられる子も増えました。



＜つぼみ組＞



- ◇ 盛られた量の半分しか食べられなかった子も量の調整をすることなく、完食できるようになりました。
- ◇ 保育者に食べさせてもらっていた子も、スプーンやフォークを上手に使って、一人で食べられるようになりました。
- ◇ エプロンをつける、おてふきをクルクル丸めて袋にしまう、などの準備や後片付けを、子どもたち自ら進んでやっています。



3月に入ってから、すみれ～ばら組は進級する部屋で給食を食べたり、すみれ組は3歳から使う食器で食べたり、ひまわり組は小学校で飲むパック牛乳を飲んだり、ひとつ大きくなることへの準備を少しずつ進めています。



＜給食より＞月を追うごとに食べ残しが少なくなり、食べ終わる時間も早くなっていき、日々子どもたちの成長を感じる1年でした。「今日、おかわりしたよ！」と、うれしい報告をしてくれる子も多かったです。

10日 おわかれ会《ひまわり組リクエストメニュー》

ひまわり・ばら・さくら組は、縦割りチームに分かれて、会食をしました。ひまわり組リクエストメニューは、しゃかしゃかおにぎり、花しゅうまい、フライドポテト、カレーもやし、かぼちゃスープでした。ひまわり組だけでなく、どの子も大好きなメニューだったようで、みんなたくさんおかわりをしていました。

